

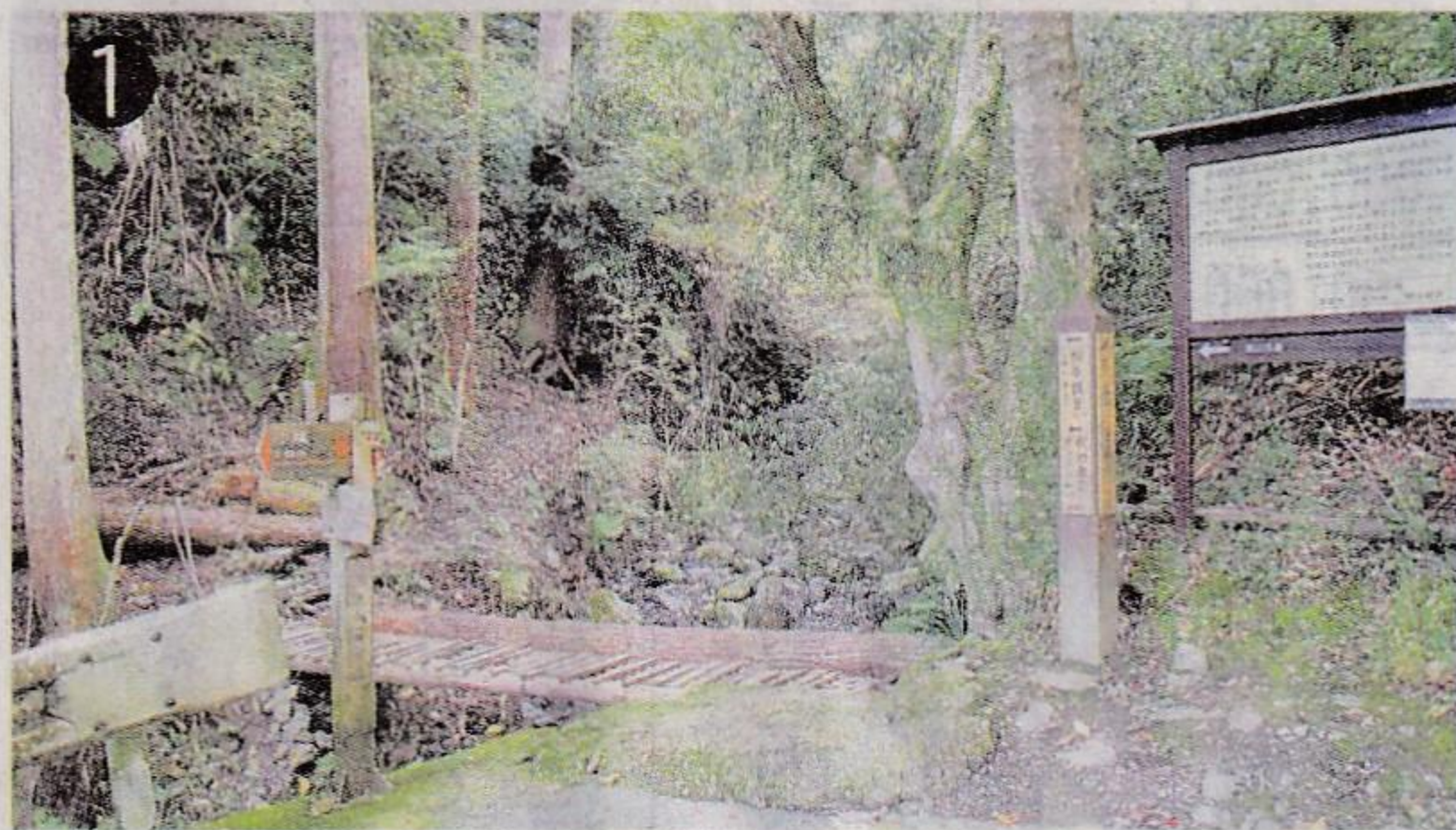


11 ポンポン山



ポンポン山(標高679m)は、京都と大阪の府境に位置する。一部は東海自然歩道にもなっており、多くのハイカーに親しまれている。いくつもの登山ルートがあるが、洛西の名刹・

善峯寺(京都市西京区)から釈迦岳を経由しポンポン山へのルートを紹介する。阪急の東向日駅から善峯寺行のバスに乗り、終点で下車。寺の駐車場方面に坂を上って行くと、突き当たり左側に木橋がある。ここが登山口となる。写真①。橋を渡ってしばらく進むと「展望所」の標識が見える。左に少し進めば、善峯寺を眼下に市内が一望できる。元へ戻り進むと、柳谷観音への西山古道との分岐に出合う。ここは、えぐれた登山道をまっすぐ進む。杉林の中を少し登れば小さな沢があり、渡って左へ急坂を尾根に出る。登り切り、稜線の標識に従い、ポンポン山へ向かう登山道へと右に進む。標識から10分ほど左にはベンチの置かれた休憩広場がある。ここから整備された登山道をしばらく進むと「おおさか環状自然歩道」と出合い、や



がて釈迦岳に着く。頂上にはテーブルがありここも一休みできる。ここは元善峯寺の寺領で、かつては等身大の釈迦石仏が安置されていたが、明治初年に善峯寺に降ろされ、釈迦堂に安置されている。



釈迦岳から右へ少し下って尾根道を進み、送電線の鉄塔を過ぎると杉谷への分岐に着く。ここから東海自然歩道となり、次に大原野森林公園との分岐に出合う。自然林に囲まれたこの辺りはよく踏みしめられ、快適な稜線歩きが楽しめる。初夏の若葉の緑や秋の紅葉が見どころ。やがて右側に頂上への登り口があり、山頂へ着く。写真は素晴らしい。生駒山に比叡山、東山、その向こうに滋賀の三上山まで。振り返ると愛宕山や丹波の山々が展望できる。看板に「この山は正しくは加茂勢山といいますが、頂上に近づくとつれて足音がポンポンとひびくことから通称ポンポン山と呼ばれています」と、ユニークな山名の由来の説明がある。確かめてみるとよい。



頂上の二等三角点標石は削り取られて痛々しい姿を見せている。三角点標石は地図作成の基点として設置されたものであり、大切にしたい。下山は杉谷への分岐まで戻り東海自然歩道を下る。木道が朽ちて、鉄製の留めくいが残置されているので足元に注意しよう。杉谷集落。写真③を過ぎ、舗装された道を下り、善峯寺に着く。時間の余裕があれば善峯寺に寄って遊龍の松や、釈迦岳山頂から下山さされたお釈迦様を参拝して行こう。

アクセス JR東海道線向日町駅、阪急東向日駅から善峯寺行きの阪急バスに乗り、終点の善峯寺で下車。1月上旬～

2月末までは小塩止まりとなるので要注意。小塩から善峯寺バス停までは徒歩30分ほど。